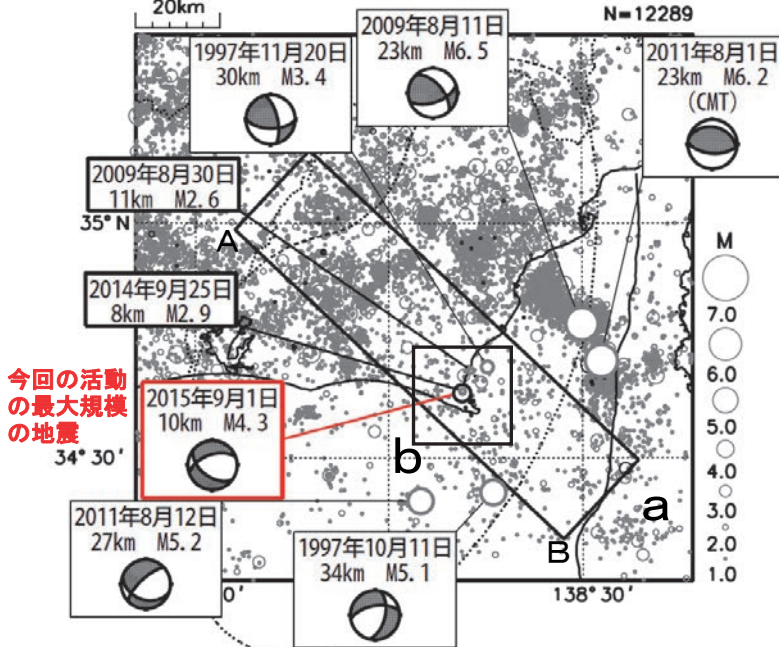


8月29日から9月2日にかけての 静岡県中部（御前崎付近）の地震活動

震央分布図

(1997年10月1日～2015年9月23日、
深さ0～60km、M≥1.0)

2015年8月29日以降の地震を濃く表示
破線は東海地震の想定震源域を示す



情報発表に用いた震央地名は「静岡県西部」である。

2015年8月29日から静岡県中部でややまとまった地震活動が見られた。今回の活動で最大規模の地震は9月1日00時29分のM4.3の地震（深さ10km、最大震度3）である。9月1日までに震度1以上を観測する地震が8回発生した。まとまった活動は2日まで見られた。3日以降、活動は収まっている。

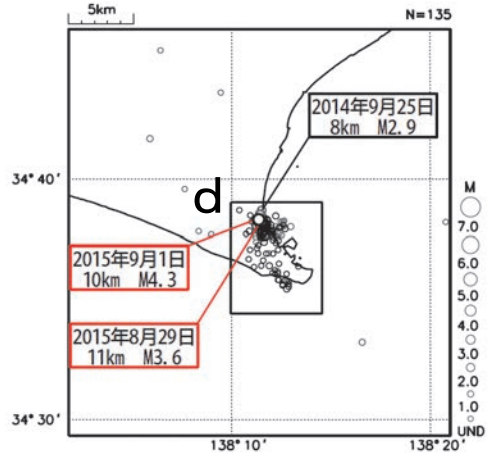
9月1日のM4.3の地震の発震機構は、南北方向に張力軸を持つ型である。これらの地震は地殻内で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域c）では、M3.0以上の地震は今回が初めてであった。2009年8月から9月にかけて、2014年9月にややまとまった活動が見られた。

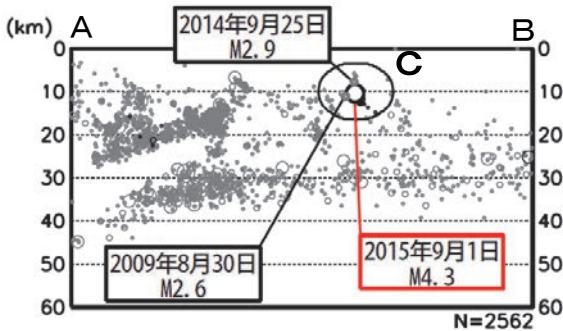
なお、東海地域のひずみ計には特段の変化は現れていない。

領域b内の震央分布図

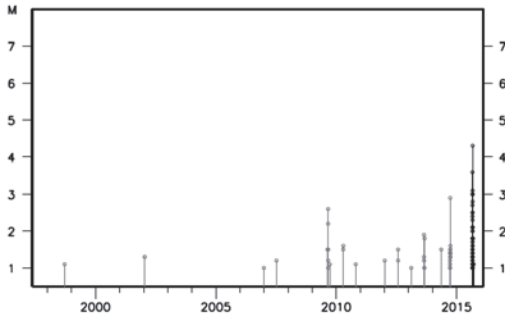
(2014年9月1日～2015年9月23日、
深さ0～20km、Mすべて)



領域a内の断面図(A-B投影)



領域c内のM-T図



最大震度別地震回数

最大震度	回数
3	1回
2	2回
1	5回

領域d内のM-T図

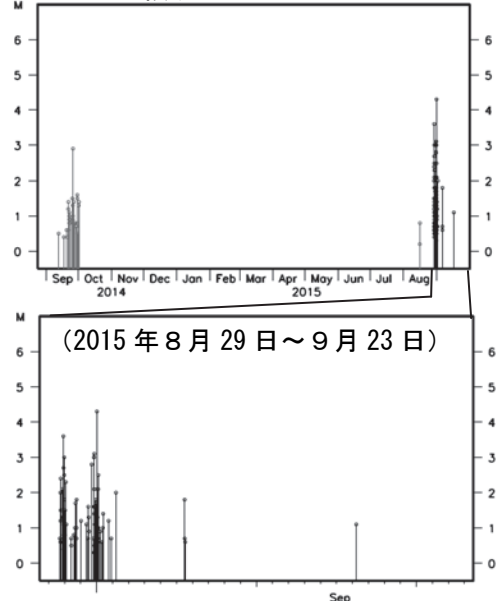


図7 8月29日から9月2日にかけての静岡県中部（御前崎付近）の地震活動

気象庁作成